

ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第193号 平成29年11月1日



いきいき茨城ゆめ国体大会2019

yuinowa
Coworking & Café



歴史的まちなみ保全のため 景観条例を可決

第3回定例会は9月6日から22日までの17日間にわたり行われ、市長提出案件19件をすべて原案のとおり可決しました。

案第51号 結城市公共施設長寿命化等推進基金条例について

平成29年3月に策定した「結城市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設などの修繕や改築による更新等を計画的に推進し、安定的な財源確保をするため、基金の設置、管理及び処分について規定しました。

大規模な修繕や改築が必要な公共施設が生じた場合

Before
今までは、一般財源により修繕を実施していた。

After
これからは、一定のルールのもと積立を行う「基金」を設置し、修繕に備える。

その結果

安定的に財源を確保できる。

人事案件

以下の方の選任について同意

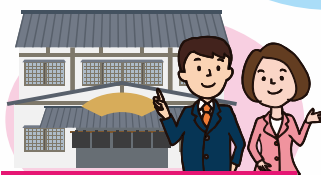
公平委員 齋藤 暁氏

案第53号 結城市景観条例について

歴史的まちなみ等を保全し、魅力ある地域景観を有するまちづくりを実現するため、主に、次のことを定めました。



事前協議制度



景観審議会・景観アドバイザーの設置



表彰と助成

表彰：良好な景観の形成に寄与していると認められる建築物、工作物等について、その所有者、設計者、施工者等を表彰することができる。

助成：景観重要建造物又は景観重要樹木の所有者又は管理者に対し、その管理に要する経費の一部を予算の範囲内において助成することができる。

事前協議制度：景観法第16条第1項又は第2項の規定による届出をしようとするものはあらかじめ規則で定める市長との協議をしなければならない。

第2回臨時会が開催されました

平成29年結城市議会第2回臨時会が7月28日に召集され、議案1件が上程されました。審議の結果、全員一致をもって原案のとおり可決しました。

案第39号

工事請負契約の締結について

結城市立公民館を建設する工事の請負契約を締結するもの



▲公民館建設予定地

鉄骨2階建て、延床面積755.20㎡

第3回定例会 議決結果

議 案	議決結果	大里克友	土田構治	會澤久男	湯本文夫	大橋康則	佐藤 仁	平 陽子	安藤泰正	黒川充夫	早瀬悦弘	稲葉里子	大木作次	秋元 昇	金子健二	中田松雄	船橋 清	孝井恒一	平塚 明
議案第40号～議案第55号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
認定第1号, 認定第2号	決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
選任第21号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ☆議長 秋元昇は採決には加わらない

	件 名	内 容
議案第40号	平成29年度結城市一般会計補正予算(第2号)	主に公共施設長寿命化等推進基金への積立や生活保護の新規申請件数が増加していることに伴う生活保護費の増額等により、歳入歳出それぞれ7,870万円を増額するもの
議案第41号	平成29年度結城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	主に過年度精算還付経費の増額等により歳入歳出それぞれ6,133万余円を増額するもの
議案第42号	平成29年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	主に後期高齢者医療広域連合納付金の増額等により歳入歳出それぞれ1,610万余円を増額するもの
議案第43号	平成29年度結城市介護保険特別会計補正予算(第1号)	主に過年度精算還付経費の増額等により歳入歳出それぞれ5,489万余円を増額するもの
議案第44号	平成29年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	主に土地区画整理事業費家屋物件移転補償費の減額等により歳入歳出それぞれ4,937万余円を減額するもの
議案第45号	平成29年度下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	主に土地区画整理事業費の増額等により歳入歳出それぞれ1,834万余円を増額するもの
議案第46号	平成29年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	主に下水浄化センター管理経費施設維持修繕経費の増額等により歳入歳出それぞれ448万余円を増額するもの
議案第47号	平成29年度結城市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	主に施設管理経費修繕料の増額等により歳入歳出それぞれ327万余円を増額するもの
議案第48号	平成29年度結城市水道事業会計補正予算(第1号)	主に平成30年度から33年度までの期間において、上下水道料金システムを業務委託するにあたり、5,000万円を限度として債務負担行為を追加するもの
議案第49号	結城市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	主に個人情報の取り扱いに特に配慮を要する「要配慮個人情報」の規定を追加するもの
議案第50号	結城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	主に育児休業及び育児短期時間勤務の承認について、保育所の利用を希望しているが当面保育所に入所することができない場合を特別な事情として加えるもの
議案第51号	結城市公共施設長寿命化等推進基金条例について	2Pに記載
議案第52号	結城市企業誘致条例の一部を改正する条例について	農村地域工業等導入促進法の題名が改正されたことに伴い、条文中で引用している題名を改めるもの
議案第53号	結城市景観条例について	2Pに記載
議案第54号	結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	農地利用最適化交付金を農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員に加算額として配分するもの 景観審議会の委員の報酬額を規定するもの
議案第55号	市道路線の変更について	市道3379号線は、市道の一部として認定していた個人所有地を市道認定から外すもの 市道3432号線は、二国橋を維持・管理する必要があるため路線の一部を変更するもの
認定第1号	平成28年度結城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年度の決算において、議会の認定を求めるもの
認定第2号	平成28年度結城市水道事業会計決算の認定について	平成28年度の決算において、議会の認定を求めるもの
選任第21号	結城市公平委員会の委員の選任について	2Pに記載

平成28年度 決算の状況

会計区分	一 般 会 計	特 別 会 計
歳 入	177億6,862万円	134億3,557万円
前年度比	▲4.1%	1.5%
歳 出	171億3,227万円	129億2,972万円
前年度比	▲2.6%	0.6%

企 業 会 計		
水 道 事 業 (税込み)		
収 益 的	収 入	12億3,527万円
	支 出	11億1,547万円
前 年 度 比	収 入	1.9%
	支 出	▲0.6%
資 本 的	収 入	2億9,586万円
	支 出	7億1,101万円
前 年 度 比	収 入	52.2%
	支 出	35.2%

結城蔵美館運営事業 537万円



結城蔵美館を観光集客の拠点として活用し、歴史資料や本市出身の作家の作品を展示して、本市の歴史や芸術文化の情報発信を行った。

28年度決算 注目事業

第3回定例会では、決算特別委員会が設置されました。委員長に稲葉里子議員、副委員長に佐藤仁議員が就任し、市の予算が適正に執行されているか審査を行いました。

その中で、注目された事業を紹介します。

工業団地整備推進事業 1,048万円



新たな工業団地の整備を推進するにあたり、地権者説明会の開催や各種調査を行うとともに、事業化のために必要な関係法令に基づく関係機関協議を実施した。

筑西幹線道路整備事業 2,785万円



筑西幹線道路の一部を市道として整備した。

- ・道路改良工事（大字山王地内）1件
- ・附帯工事6件
- ・地質調査委託1件

防災行政無線整備事業 1億7,790万円



災害時の情報伝達手段として、屋外拡声器型デジタル防災行政無線システムの整備を行った。

- ・防災行政無線整備工事
屋外拡声子局20基
- ・防災行政無線整備工事監理委託
（平成26, 27, 28年度継続事業）



今後整備計画を策定していく

トイレ洋式化とエアコン設置について



さとう ひとし
佐藤 仁 議員

住民サービスの質の向上を強く望む！

市民サービスについて

問 コンビニでの証明書交付は市民サービス向上策である。また、外国人の窓口対応について、英会話の可能な職員の人員配置について伺いたい。

市民生活部長 コンビニでの証明書交付の実施状況は、県内44市町村のうち、約60%の26市町村が導入済みとなっており、近隣市では、古河市、常総市、筑西市、坂東市が実施しております。本市のコンビニ交付の導入に

ついては、サービスカウンターの利用状況やマイナンバーカードの交付状況などを見極めながら、市民の利便性、効率性、費用対効果等を十分検証したうえで、検討していきます。

外国人の窓口対応については英会話など外国語の対応が可能な職員の把握に努めるとともに、外国人の方々に対するサービスの向上に資する適材適所の人員配置が実現できるように、人事担当部署と連携を図ってまいります。

次代を担う子供たちの、教育環境整備は重要な課題である

義務教育学校について

問 トイレの洋式化と、小中学校の教室内のエアコンの設置は、喫緊の課題であると感じています。が、本市の考え方、並びに整備計画について伺いたい。また、義務教育学校についての考えを伺いたい。



教育部長 エアコン設置

についての整備計画は、現在のところ策定してないが、多額の整備経費とランニングコストが必要となるため、トイレの洋式化を計画的に進めたうえで、今後、策定してまいります。トイレの洋式化の整備計画については、トイレ施設の修繕費が増加していることや、生活様式の変化に伴い、和式便器を洋式便器に改修する必要性が高くなっていることから、現在、策定を進めて



います。改修後のトイレを、乾式とするか、あるいは湿式とするか、費用対効果や整備期間を考慮し、検討していきます。

市長 「義務教育学校について」

は国、県及び近隣市の動向に注視し、制度の効果や成果を調査研究し、議会や市民の皆様のご意見を聞きながら、検討してまいります。



サテライトオフィス誘致で若年女性流出ストップ！

新しい仕事の創出を支援していく

サテライトオフィスの誘致について

問 都心からの利便性の高い地域性を活かし誘致、雇用の創出を目指し働き方改革を進め若年女性やシニア層の職場を確保することが必要。

市長公室長 ライフスタイルが大きく変わろうとしている中で、働き方の選択というの大きなテーマであり、企業にとっても自治体にとっても柔軟な対応が求められています。当市は9月にオー

ブンした地方創生事業で整備をしたコワーキングスペース「ゆいのわ」がテレワークやサテライトオフィスの推進拠点として期待されているところであり、IT人材の育成・発掘を基本軸に新しい仕事の創出を支援しているなど、人材育成、場づくりを行ってまいりたいと考えております。



1,300万人の認知症社会には地域全体での対応を！

認知症社会への対応について

問 「認知症社会」は社会問題化する尋常ではない状況が到来する。MCⅠと言われる軽度の認知障害をもった予備軍についての早期対策並びに社会全体が理解し取り組んでいけるのか。

保健福祉部長 認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で生活が続けられるよう、30年4月には、「認知症初期集中支援チーム」を

配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を図ってまいります。さらに認知症は身近なものであることを社会全体として認識していくため、学校教育の中でも取り組んでまいります。また民生委員児童委員、ボランティア、事業者などの民間団体との連携を強化し「生活支援体制整備事業」を推進し、高齢者を支える地域づくりを進めてまいります。

以上2件の質問の他に、「中高年のひきこもり」を問い、潜在化しているひきこもりの早期発見に取り組むとともに、適切な支援について要望しました。



おおはし やすのり
大橋康則 議員

自立支援・重度化防止の促進を 介護予防の充実と啓発を進めていく

防災対策について

問 関東・東北豪雨災害時は現在のハザードマップの想定と隔たりはなかったのか。また、ハザードマップの見直しは。

市民生活部長 一部区域を除き、浸水想定区域に近い状況であったことが確認できます。しかし、浸水想定の高さについては、鬼怒商業高等学校では、想定以上の浸水被害状況が確認された。

洪水ハザードマップを今年度9月末までに作成する予定であり、全戸配布をいたしますので、災害の備えに役立てていただきたい。

問 鬼怒川の堤防嵩上げにより、水嵩が高くなり、田川へ逆流する量が増えることにならないのか。

都市建設部長 堤防の整備のほか河道掘削を行うことにより、鬼怒川は流下しやすくなり水位は低下するものと思われます。

問 鬼怒川の堤防嵩上げにより、水嵩が高くなり、田川へ逆流する量が増えることにならないのか。



▲H29.6 鬼怒川堤防の現地調査

介護保険改革と本市の取り組みについて

問 自立支援・重度化防止の促進として、介護予防策をどのように進めていくのか伺いたい。

保健福祉部長 通所プログラムでは、作業療法士、理学療法士及び言語聴覚士による、日常生活動作の維持・向上を目的とした講話や、膝痛・腰痛対策や認知症予防、うつ病予防に関するプログラムを実施しております。訪問プログラムでは、日常生活動作で注意する部分への助言等の支援を実施しております。また、人材を育成するため、シルバーリハビリ体操指導士及び介護予防サポーターの養成を実施している。

子どもの貧困対策について

問 本市における相対的貧困率について、また子ども食堂について伺いたい。

保健福祉部長 本市における子どもの貧困率は、全国的には低いものと推察されます。しかし、貧困に陥る可能性のある世帯が潜在していると認識している。

子どもの孤食の防止と、居場所づくりを目的として、いばらきコープ生活協同組合が主催するほべたん食堂を開催される。



▲ほべたん食堂のメニュー

たん食堂を結城市社会福祉協議会が共催し、ボランティアの協力をいただき、プレオープンいたしました。

9月からは、ボランティアが主体となつて、南部中央コミュニティセンターにおいて、毎月第3金曜日に開催される。



あきら ひらつか
議員 明 平塚

常に危機感を持った災害対策をお願いしたい。

農産物、工芸品の販路拡大を

継続的に図ってまいりたい

道の駅等での販売について

問 道の駅の設置は財政的には厳しいと思いますが、私は収入も見込める投資効果のある施設だと思えます。執行部の考えをお聞かせください。

産業経済部長 平成29年4月現在、全国で1,117駅が登録されており、

近隣でも、国道50号線沿いに小山市が「道の駅思川」を、国道4号線沿いでは、下野市が「道の駅しもつけ」を、古河市が

「まくらがの里こが」を設置しております。

本市におきましても、庁内関係部課等において道の駅に関する協議を行った経緯はございますが、新設には、国の助成制度を利用して多額の財政負担があり、多くの課題は至っていない状況でございます。

市長

道の駅につきましては、地元農産物や伝統工芸品の販売などによる地域活性化や自治体PR効果など、地域振興への



▲道の駅思川

寄与が期待できるメリットもございますが、建設につきましては、既に近隣にいくつかの道の駅が設置されている点や、多額の財政負担が必要となる点等、難しい課題が存在していると認識しております。

公民館分館の整備について

問 公民館地区分館構想について、地区分館として何箇所想定しているのか、民間の館長を置くのか、職員を配置するのか、お聞かせ願います。

教育部長

絹川地区多目的集会所、上山川就業改善センター及び江川地区多目的集会所の3施設を地区分館として位置づけ、現在の公民館北部分館を加え、合計で4箇所の地区分館を計画し

ております。山川文化会館につきましては、既に、地域に根差した様々な活動の場として利用されていることから、地区分館としては位置付けられないものの、連携協力を図ってまいりたいと考えております。地区分館への職員の配置についてでございますが、平成29年3月に策定した「結城市立公民館施設整備基本計画」では、各分館の管理・運営を行うとともに、本館との連携を図るため、職員を配置する計画となっております。

市長

公民館は、市民が集い、地域の生涯学習及び交流の拠点として、大変、重要な施設であると考えております。現在、本館機能を有する新公民館の建設を進めているところですが、市民の誰もが身近で公民館を利用できるように、地区分館につきましても、段階的に整備を図ってまいりたいと考えております。



あいざわ ひさお
會澤久男 議員

財政的観点と社会的利益を比較考量 跡地利用には管理費縮減の視点を！



つちだ こうじ
土田構治 議員

公共施設は地域の実情に沿ったものを！

小山地区定住自立圏 共生ビジョンについて

問 本市が具体的な取り組みとして挙げた40項目に関し、これからの計画はどの様に考えているのか。また、小山市との協議についてはどの様に行っていくのかお聞かせください。

市長公室長 事業ごとに

小山市の担当部長が委員長、構成市町の担当課長が副委員長、そして事業担当者で構成されるプ

ロジェクト会議を設置し、事業内容やスケジュール等について協議しております。共生ビジョンに掲げた事業を着実に進めるとともに、定期的に連携事業の評価や改善を行うことで、それぞれの市町が持つ、医療や交通、歴史といった特色をバランスよく発揮すること、魅力ある圏域づくりを目指す。

定住促進のポイントは 生活利便性向上である。 そのためのインフラ投資が 大変重要である。

新庁舎建設及び跡地 利用について

問 建設計画にあたり、現時点での課題や問題点または苦勞したことは何でしょうか。

「公共施設白書」による管理運営経費で本庁舎は37,509千円、付属庁舎は9,991千円、駅前分庁舎は26,865千円、合計で74,365千円掛かっています。

新庁舎に於いては市民情報センターの管理運営経費130,811千円

から類推してもそれ以上の莫大な経費が掛かると予想されます。これらの考え方から現庁舎跡地に掛かる経費を縮減することは必要不可欠であり、私のこの見解をどの様に捉えますか。

市長公室長 新庁舎建設

にあたり現在の課題につきましては、事業費を抑えることであり、建物の形状をシンプルにするのとや、エレベーターやサッシ等に標準品を使用するなど、建設コストを抑えるよう設計を進めてお

ります。

次に、現庁舎跡地利用について、効率化、合理化及び維持管理経費の縮減を図ることは、重要なことだと考えておりますが、財政的観点と市民の受ける社会的利益を比較考量し、慎重に検討していきたいと考えております。

◀現庁舎



▶新庁舎イメージ図



介護サービスの充実を

実情に応じたサービス提供に努める



平 陽子 議員
たいら ようこ

国保税のさらなる引き上げは反対です。

茨城県国民健康保険 運営方針について

問 来年度からの運営方針と保険税の算出基本が県から市に通達が出ました。これ以上保険税が高くなるのでは、市民の負担がたいへんです。どのように決めるのか説明を求めました。



市長 県から示された第3回国保事業費納付金等

の試算結果を精査のうえ、30年度の保険料率等について検討してまいります。

軽度者向け介護サービスについて

問 今年の4月から要支援1・2のデイサービスと訪問ヘルパーの事業が市の総合事業に移行しました。県内の25市町は「運営に苦勞」しているとのこと。結城市の現状を聞き、サービス低下に向かわないよう要望しました。

保健福祉部長 総合事業

は「サービスづくり」ではなく「地域づくり」と捉え、地域包括ケアシステム構築を目指し、地域の実情に応じた生活支援サービスの提供に努めるとともに、要支援者等を含めた高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、市民の力を高め、活かすことのできる仕組みづくりを進めます。

障害者の就労支援について

問 障害者の就労支援事業

所で大量解雇や廃業が増えているとのことですか。

障害者たちの雇用支援の取り組みを聞き、障害者にやさしいまちづくりを求めました。

保健福祉部長 企業が障害者を雇用する場合に利用できる制度や助成金について、雇う前、雇う時、雇った後といった時系列で解説する企業向けセミナーの開催を予定しております。

また、障害者の就労支

援を、より効果的に推進するため、ハローワークや就労継続支援事業所、特別支援学校、障害者就業・生活支援センターなど、関係機関と連携してまいります。

医療的ケア児への支援について

問 日常的にたん吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な子供たちの支援強化に県が乗り出すようです。支援の現状と今後の取り組みについて伺いました。

保健福祉部長

国では、重症心身障害児を受け入れる通所施設を、各市町村に少なくとも1か所以上確保する目標を定め、県は、新しいばらき障害者プランや県保健医療計画の改訂にあたり、国の方針や保護者からの要望を受けて、医療的ケア児対策を盛り込むとしております。

近隣市町村にある施設との連携をより深めるなどにより、医療的ケア児への支援を進めてまいります。

大型公共施設修繕の備えとして基金を 公共施設長寿命化等推進基金条例上程



かねこ けんじ
金子健二 議員

公共施設の修繕・改築等に対する「備え」を

積立基金について

問 全国地方自治体においては、過去に建設された公共施設等の老朽化が進み、これから大量に更新時期を迎える。一方では、地方公共団体の財政は依然として厳しい状況にあるといわれております。国は、地方公共団体に對して平成26年に公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むことを要請し、本市もその必要性を十分認識し

ており、喫緊の課題と捉え、本年3月、「結城市公共施設等総合管理計画」を策定しております。

本市の建物では、昭和40年代後半から50年代後半にかけて建設された公共施設が多く、これらの施設は今後老朽化が進むことになり、本市の財政にとって大きな負担となることが予測されている。

さらに、少子高齢化の急速な進行による人口構造の変化、それに伴う市民ニーズの変化に對して

積極的に対応し、公共施設の有効活用を図っていくとまとめています。

市長公室長

本市における大型公共施設として

は、平成3年度に建築し、築後26年が経過している「結城市民文化センターアクロス」、平成9年度建築、築後20年が経過している「かなくぼ総合体育館」、平成14年度建築、築後15年が経過している「市民情報センター」等の施設があり、老朽化の進行による修繕費用の増加が懸案事項となっており

ります。また、こうした大型施設とは別に、様々な施設、公園、機械・設備等もございます。これらの中には、耐用年数を超過して使用を続けているものも多数あり、更新費用についても多額の経費が必要となっております。



しかしながら、これら公共施設の修繕や更新に活用できる基金は現状では設置しておりませんので、これまでは当該年度の一般財源により、修繕等を実施してまいったところでございます。

「公共施設長寿命化等推進基金条例」につきましては、この安定的な財源確保を目的に、新たな基金の設置を実現し、公共施設の長寿命化の円滑な推進を図るものです。基金への積み立てについては、毎年度の決算により生じる剰余金を活用し、

一定のルールを定めただで積み立てを行ってまいります。また、基金からの充当、繰り入れについては、公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設毎に策定された長寿命化計画に位置付けられた、修繕・改築等を対象事業とし、これら対象事業を計画通りに実施していく際に、大規模な修繕や複数施設の改修が特定の年度に集中する場合等、一般財源の不足が見込まれる年度において、基金の繰り入れを想定しております。

災害をどう防ぐのか、何を備えるのか

女性視点での防災対応が必要

「女性視点の防災ブック」の作成について

問 今こそ女性の防災への参画を促すとともに、女性ならではのきめ細やかな目線で防災のノウハウをまとめた、「女性視点の防災ブック」の作成は重要であると考えています。

市民生活部長 今後は、自主防災組織の設立推進とともに、自主防災組織等での女性リーダーを育成するため、女性消防団

等との意見交換や各種女性団体等との交流機会を設けることも考慮し、また、研修会・講演会等への参加促進を図る中で、併せて「女性視点の防災ブック」の作成も検討してまいります。

「ヒアリ対策」について

問 当初は、空港や港のある所で対応すべきと思っていたが、本市でも中国からのコンテナを扱う会社があることを考えると、他人事ではない。現状の課題も含めた今後の対策について伺いたい。

市民生活部長 本市内に運び込まれるコンテナの数量や企業を把握することが課題として挙げられます。現在県では、港湾での水際対策を実施しておりますが、全てのコンテナへの対応は難しいとのことでございます。今後、関係団体からの情報収集や市内巡回等により、本市でのコンテナの持ち込み企業の把握について、努めてまいりたいと考えております。本市として

市民生活部長

本市内に

運び込まれるコンテナの数量や企業を把握することが課題として挙げられます。現在県では、港湾での水際対策を実施しておりますが、全てのコンテナへの対応は難しいとのことでございます。今後、関係団体からの情報収集や市内巡回等により、本市でのコンテナの持ち込み企業の把握について、努めてまいりたいと考えております。本市として

市営住宅における外国人の入居者について

今後の対策といたしましては、ホームページだけでなく市報等も活用し、多くの市民、企業への情報の提供、注意喚起等を行ってまいりたいと思っております。

問 日本の市営住宅では自治会組織が置かれており、多岐に渡る役割を担っている。そこに、生活習慣の違いなどから発生するトラブルは、自治

会にとって負担になっているようですが、現状の課題と今後の対策について。

市営住宅入居者の多様化、高齢化が一層進んでくることから、外国人との共存、相互理解を進め、入居者間の協力体制を確立することが、課題だと考えております。

都市建設部長

今後の取

り組みと致しましては、自治会へのお願いとして、不慣れな外国人を温かく見守っていただきたいこと。外国人入居者に対しては、自治会に積極的に参加し、災害や緊急時には、お互いに協力できるようなコミュニティの形成に努めるよう指導してまいります。今後、外国人入居者の増加とともに、

問 日本の市営住宅では自治会組織が置かれており、多岐に渡る役割を担っている。そこに、生活習慣の違いなどから発生するトラブルは、自治

会にとって負担になっているようですが、現状の課題と今後の対策について。



くろかわ みつお

黒川充夫 議員

地域や人のつながりが大事になります。



▲かなくぼ市営住宅

民間活力をいかした施設運営を 制度の特性を十分いかしていく

指定管理者制度について

問 本市にも民間活力をいかして運営ができる施設もあると思われますが、今後の取り組みについて伺います。

市長公室長 現在、指定管理者制度の導入の検討を要する施設は32あり、事業団を指定管理者としている4施設を除いて他の施設は直営の運営形態をとっております。今後、施設の所管課に対して意向調査やヒアリングを実

施して、施設の現状や運営上の課題を整理した上で、制度導入の適否を適切に判断してまいりたいと考えております。
また、制度の導入に当たっては、チェック機能の強化にも努めてまいりたい。



▶ ゆうき図書館

米の生産調整について

問 40年以上続いてきた米政策を転換し「米の直接支払交付金」10アールあたり7,500円が今年度廃止になります。これにより生産調整参加への意識が薄れる懸念があります。今後の取り組みについて伺います。

市長 米の生産調整につきましては、平成30年度以降、生産者が需要に応じた生産を行うことが、今まで以上に求められま

すので、既存の関連事業の見直しを含め、需給バランスが確保されるための取り組みについて、検討してまいります。



農業生産工程管理（GAP）の認証取得について

問 GAPは、食品の安全性を証明する認証として国際的にも認められています。東京五輪での食材の供給にもGAPの認証取得は要件の一つとなっております。今後の取り組みについて伺います。

市長 農業生産工程管理GAPの認証取得につきましては、本市の農業発展のために重要なこと

でありますので、茨城県、JA北つくばと連携しながら、推進してまいりたいと考えます。



▶ 一般財団法人日本GAP協会ホームページより



おおさと かつとも
大里克友 議員

国際認証取得で農業に未来を

統一的基準の新公会計制度導入へ

持続可能な財政健全化に努めます

統一基準による新公会計制度の導入について

問 国が、統一的基準による新地方公会計制度の導入を要請する意義について伺います。

市長公室長 平成20年度から総務省方式改訂モデルにより、財務書類の作成と公表を実施しております。統一的基準による新地方公会計の導入は、団体間の比較可能性の確保と、発生主義・複式簿記の導入を促進する意味

合いから財務書類等の作成が要請されたものと認識しております。今後固定資産台帳の整備が必須とされており決算統計は

発生の都度、又は期末一括での複式仕訳による財務書類を作成することとなります。



市長 これまで以上に透明性と将来に亘り持続可能となる健全な財政運営

に努めてまいります。

ふるさと納税について

問 平成28年度事業経過と今後の取り組みについて伺います。

市長公室長 平成28年度の寄附額は1,989件、2千559万円で件数で約64倍、金額で約26倍の増収となっています。主な寄附の使いみちは、市にお任せが763件、教育・文化が622件、保健・福祉が245件とな

っております。返礼品としては市内19事業者76品目を採用しております。今後将来における寄附金の収入安定を図り、本市を選んできたいた寄附者に対する感謝の気持ちを表したうえで、結城市の良さが発信できる方法を検討してまいります。

市長 本市の魅力発信と地域経済の活性化にも寄与できるよう取り組んでまいります。

医療福祉系大学の誘致について

問 現在の事業進捗について伺います。

理事兼政策監 本市に進出可能性をもった大学へのヒアリング調査を踏まえ、市が行う支援の在り方等を検討し有識者会議を立ち上げてまいります。

時代に合った小中一貫教育について

問 義務教育段階で高い教育の質が提供できるところに若い人が集まり定住します。小中一貫教育について伺います。

教育部長 小中一貫教育は小学校及び中学校段階の教員が、目指す子供像を共有し、義務教育9年間を見通し、系統性・連続性を確保した教育課程を編成・実施する教育です。その形態には施設一体型・施設隣接型・施設分離型があります。

市長 小中一貫教育となると施設一体型や施設隣接型でないと十分な成果が得られないのではないかと考えている。



ゆもと ふみお
湯本文夫 議員

時代に合った小中一貫教育の推進を

委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

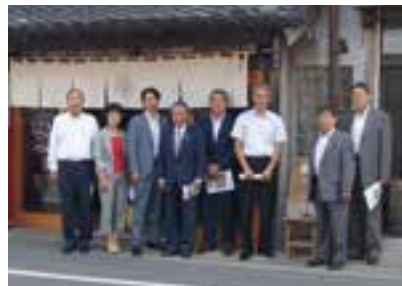
●総務委員会

総務委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、9月11日に開催されました。初めに、コワーキングスペース「yuinowa（ゆいのわ）」を現地調査してまいりました。

「yuinowa」の機能の核となるコワーキングスペースにおいては、情報交換・学び・仕事の場として、個人オフィス利用、人材育成事業、創業支援事業、テレワークに取り組む首都圏企業の従業員受け入れ、移住・定住相談窓口としての機能を果たしている場との説明を受けました。

審査は、本委員会に付託されました平成29年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分1件、結城市公共施設長寿命化等推進基金条例などの議案3件、結城市公平委員会の委員の選任1件、計5件について審査されました。

なお、審査の結果、付託された案件5件についてはすべて原案のとおり可決されました。



▲ゆいのわ



▲審査の様子

●産業・建設委員会

産業・建設委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、9月12日に開催されました。

審査は、本委員会に付託されました平成29年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分や平成29年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）などの特別会計、平成29年度結城市水道事業会計補正予算（第1号）など、補正予算関連議案6件、結城市企業誘致条例の一部を改正する条例について、

結城市景観条例について、結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての条例関連議案3件、市道路線の変更についての議案1件の合計10件について審査されました。なお、審査の結果、付託されました議案10件についてはすべて原案のとおり可決されました。

●教育・福祉委員会

教育・福祉委員会は、市長・教育長・関係部課長の出席を求め、9月13日に開催されました。

午前中に、城南小学校と江川南小学校を現地調査してまいりました。

城南小学校では、平成31年度に児童生徒数が最大数になると推測されているため、今回中校舎配膳室増築工事において33㎡増築することにより、搬入される給食数の増加への対応を図っています。

また、江川南小学校では、小学校英語活動推進事業として、英語専門指導員の指導による4年生の笑顔に満ちた授業を参観しました。

午後の審査では、本委員会へ付託されました平成29年度結城市一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項分など議案4件について審査されました。なお、審査の結果、付託されました議案4件についてはすべて原案のとおり可決されました。



▲江川南小学校

結城市議会行政視察報告

議会運営委員会

- ・期 日 8月22日～24日
- ・調査地 北海道岩見沢市
北海道芽室町

目的

議会改革の取り組みについて
議会運営について



産業・建設委員会

- ・期 日 10月10日～12日
- ・調査地 和歌山県白浜町
三重県熊野市
三重県伊勢市

目的

企業誘致の取り組みについて
農業の活性化策について
観光客誘客の取り組みについて



行政視察来訪

―本市の行政運営について

視察に来訪されました―

◆8月3日

岡山県津山市議会

緑風会（1名）

◎結城紬の概要と振興策について

朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。

ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

◆編集後記◆

今回の193号結城市議会だよりはいかがでしたか？

議会だよりの編集の一員として早6年を経過しましたが、市民の皆様へ寄り添うような議会だよりの編集を心がけ、見やすさと理解しやすさを第一義に取り組みながら試行錯誤を重ね第191号から全頁フルカラーに変更し、内容についても理解しやすいような表現にしようと心がけて編集をしています。

ここまで結城市議会だよりの内容を「かえる」事に実に6年間の月日が経過しました。変えることの必要性やその実務には多くの苦労や協力があつて実現したと思いますので、その変貌をこれからも期待をしてもらいたいと思います。

同じ「かえる」にちなんで、以前ですが百田直樹氏著書の「カエルの楽園」という書籍を読みました。発売されるやいなや、その内容に読者は衝撃を受けて話題を呼び、累計発行部数が発売から僅か2か月で20万部を突破し、瞬く間にベストセラー作品となった本ですが、「平和ボケ」という事を著者は言いたかったと感じています。今の北朝鮮の弾道ミサイルの発射を強行したことは、我が国として断じて許しがたい行動であるし、拉致、核、ミサイルといった諸懸案の包括的な解決に向け具体的な行動をとらなければならないと思います。

良い方向に「かわる」事を願います。

（情報推進委員）

◆表紙によせて◆

表紙は、ゆいのわです。築87年の旧呉服店を空き店舗等活用事業補助金の助成を受け改修し、市、商工会議所、白鷗大学、ヤフー株式会社の連携により開設されました。IT分野の仕事の創出に貢献できるものと期待しています。

議会を傍聴 しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。
詳しいことは、議会事務局まで
(0296-32-1111 内線 304・305)

平成29年第4回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

12月 6日 本会議（開会）
7日 代表質問
8日・11日 一般質問
12日・13日・14日 常任委員会
19日 本会議（閉会）
（日程が変更になる場合もあります。）